11階西病棟サテライトＮＳＴ－肝胆膵内科－

当病棟では、肝胆膵内科を中心に、肝疾患・膵疾患の入院患者様を主たる対象としつつ、乳腺外科・膠原病内科の患者様にも対応しています。週1回、食事摂取量・輸液内容・検査値をふまえて栄養状態を評価し、必要時にはNSTカンファレンス（毎週水曜）で医師・看護師・薬剤師・管理栄養士が連携して栄養療法を検討します。

― 継続的な介入と支援 ―

慢性進行性疾患や化学療法中、再入院を繰り返す患者様も多く、そのたびに低栄養へ傾きやすい傾向があります。低栄養は免疫低下や感染症、疾患の重症化を招くため、早期介入と栄養状態の維持が重要です。このような背景から、当NSTでは介入後も栄養状態が安定するまで、または退院まで継続的にフォローを行っています。また、必要に応じて栄養食事指導も実施し、退院後の生活支援や再入院予防にもつなげています。

― 多職種で取り組む個別支援 ―

病態に応じた適切な栄養プランの立案に加え、患者様それぞれの摂食意欲・嗜好・服薬状況・ADL（日常生活動作）など実生活に即した要因を考慮しながら、患者様にとって最も現実的で継続可能な栄養支援を目指しています。